

I 神奈川県派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	外国語学部	国際文化交流	学科 専攻
派遣先大学 (国)	弘益大学 (韓国)		
所属プログラム・ 学部・研究科	語学堂/国語国文学科		
報告書提出日	2019年 9月 17日		
留学予定期間	2019年 8月～ 2020年 6月		

1. 渡航について

1.1. 出発前の準備

出願料・宿舍デポジット： () /合計
 航空券代： 97450 (円) /合計
 ビザ申請関連費： () /合計
 その他（保険）： 82800 (円) /合計
 ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

◇事前の準備に関して

6月上旬：現地大学から入学許可証やオリエンテーションの日程表、また寮に関する案内などが送られてくる。
 6月中旬：ビザを発行、受け取り。
 6月下旬：航空券予約。
 7月上旬：保険の書類を国際センターに提出。
 8月上旬：現地大学の語学堂の書類がメールで送られてくる。
 ：現地大学のバディの生徒から連絡が来たため、わからないことなどを事前に質問した。
 8月下旬：オリエンテーションの詳細や、到着後に受けなければいけない健康診断（TB テスト）の詳細が送られてくる。
 ◇順調に準備が進んだことだけではなく困ったこと、失敗したこと
 パスポートの有効期限をしっかりと確認していなかったため、途中でパスポートを更新することになり、現地大学に送った書類をやり直すことになってしまった。

1.2. 渡航について

行きは、羽田空港から金浦空港にアジアナエアラインで向かった。
 現地に到着してからは、現地大学のバディの生徒に金浦空港まで迎えに来てもらい、そこから学校の寮に向かった。
 移動手段は、地下鉄で2000ウォンくらいかかった。
 約30分で寮に到着し、弘益大学入口駅から寮までは徒歩で15分くらいです。

2. 到着後の手続きについて

2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

◇手続き方法

名前を伝えるとカードキーを貰えました。支払いはオリエンテーションの時に説明され、入寮する時にはお金は必要ありません。

8月27日から12月21日までの期間の寮の費用が1,319,000ウォンで、それを指定された日にちまでに銀行に振り込む形で支払いは終わりました。

留学生のみが27日からの入寮ができるようで、一般の学生は30日または31日からの入寮になるため、私が寮に入った時はほとんど人がいませんでした。

また、私が到着したのが26日であったためそれをバディに伝えると、学校側に連絡を取ってくれたため26日に入寮することができました。

◇気づき

部屋はオートロックでした。二人一部屋でお風呂とトイレは各部屋に設置されています。各フロアに冷蔵庫と冷凍庫、飲料水とお湯が設置されています。電子レンジは下の階にはありません。

収納がかなり多いのでとても安心しました。初日はトイレトイレットペーパーがないため遅くに入寮する際は持参が必要です。

留学生の本来の入寮日より1日早く寮に入ることができ、ホテル代が浮いたため節約はできましたが、清掃期間のため部屋の清掃が終わっていなかったように思えます。自分で掃除をしましたが、二日後くらいに寮の関係者の人が部屋の汚れなどは大丈夫かと訪ねてきました。トイレや窓なども申請すれば清掃してくれるようです。

2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

オリエンテーションの日に外国人登録の説明がされました。個人ではなく、現地大学がまとめて行ってくれます。申請に必要な書類はオリエンテーションの日に配られ、その場で記入しました。申請費用として30000ウォンと顔写真を用意しました。事前にメールで送られてきたファイルに当日必要なものなどが全て記載されていたため、スムーズに行えました。

外国人登録が完了する日が10月と言われたため、まだ完了していません。

2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

8/28 オリエンテーション

→外国人登録の説明および記載、学校生活の説明、語学堂の説明、寮の説明など

全て英語で行われます。学生番号、パスワードが渡されるため、大学のアプリにログインすることで学生証が表示される。学生証はオンラインでのみ。

8/29(or 8/30) TBテスト(好きな日にちを選択)

→保健センターに行き結核の診察と血液検査を行う。

9/3 プレイスメントテスト：結果は次の日に発表。

9/6 履修締め切り：ネットからも登録できたそうだが、紙に書いて提出する方法でも可能であったためそのようにした。

9/9 授業開始

3. 目標について

3.1. 留学の目的、達成目標

語学堂でのクラスが3級だったため、留学を終える頃までには4級レベルの理解ができるようになる。また帰国後、ハングル検定で準二級を取得することを目標にしている。

文法などを学習するのはもちろんのことであるが、来期には現地大学の授業を今期よりもたくさん取れるようにすることと、韓国語での会話に支障をきたさないレベルになれるように、日頃から積極的に韓国語を使用する。

3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

大学で第二外国語として選択している韓国語の授業とは別に、空いている時間などに韓国語で韓国のドラマを見て話し言葉などを学んだ。寮が二人部屋で韓国人の学生と同室のため韓国語で会話することが多いが、ドラマで聞き取りに慣れていたためか、聞き取りが思ったよりもできた。しかしまだ、語彙力が足りないため様々な単語と表現を学習していきたい。

3.3. 今月の学習・研修目標

聞き取りや会話よりも、発展的な文法や語彙が足りていないため、今月は文法や語彙力を少しでも増やすことができるように、テキストを使った学習に力を入れる。
また、同室の韓国人の友達と少しでも多く会話をして、コミュニケーション力も増やしていきたい。今月は、初めて会う人が沢山いる月だと思うため、積極的にコミュニケーションを取っていききたいと思う。

4. 学修について

4.1. 授業時間割

現在の学期	前学期
月	語学堂 (9-13) 、生活英語 (15-17)
火	語学堂 (9-13)
水	語学堂 (9-13) 、中級日本語 2 (15-17)
木	語学堂 (9-13)
金	語学堂 (9-13)
土	
日	

4.2. 授業について

① 語学堂 (50分/1コマ) (20コマ/週)

授業の概要

一日に4コマ、1、2コマでは書くことや読むことの勉強。単語や文法などを中心に学びそれを使って文を書いたりする。3、4コマでは話すことや聞くことの勉強。リスニングの問題を解いたり、実際に会話をしたりする。一クラス10人ほど、わからないときは質問が可能。また一人一人の理解度を確かめてくれる。全て韓国語で行われる。

評価の方法

出席80%以上、中間試験と期末試験の点数を合算した平均が70点以上で進級。

② 生活英語 (50分/1コマ) (2コマ/週)

授業の概要

授業は英語で行われる。二人一組で決められたお題について話したり、生活で使う会話を学んだりする。

評価の方法

中間スピーキングテスト40%、参加15%、期末スピーキングテスト45%

③ 中級日本語 (50分/1コマ) (2コマ/週)

授業の概要

二週に一回ほど単語テストがある。教科書を使って日本語の文法や単語を学んだりする。現地学生は日本語だが私たちは韓国語に置き換えて学習を行うため韓国語の学習になっている。韓国語で書いた文を添削してもらったりもしている。

評価の方法

中間試験20%、期末試験25%、課題20%、単語テスト15%、出席10%、授業参加10%

4.3. 予習・復習・自習について

① 語学堂

予習：次の課の単語を次の授業までに調べる。

復習：その日に学習した課のワークブックを次の日までに行き提出する。

自習：その日に学習した範囲の内容を自分が分かりやすいようにノートにまとめる。

② 生活英語

特に必要なし。宿題がある場合のみ行っている。

③ 中級日本語

予習：単語テストや宿題がある場合はその学習。

復習、自習は特にしていない

5. 生活について

5.1. 衣食住について

住居	弘益大学 第二寮 (その他:)
----	------------------

寮で生活する経験がほとんどなかったため、初めて会う人と共同生活をするに少し不安がありましたが、同じ部屋の方がとても優しい方であったため今の所は問題なく生活できています。寮自体もとても新しく綺麗で、室内の設備も整っておりセキュリティも問題がありません。階ごとにカカオトークのグループがあり大事なことはその都度報告してくれます。

私は寮で食事をつけなかったため、三食自分で用意しますが一階にコンビニもあるため問題ありません。

日本から EMS を使って寮宛に荷物を送ったのですが、追跡結果は到着済みになっているのにも関わらず荷物が一向に届かず紛失したかと思い郵便局に行きましたが、大学の図書館の下のオフィスに届いていることがわかり問題は解決しました。

不便な思いをしたのはこの件くらいです。

5.2. 課外活動について

留学生が加入することができるサークルもありますが今の所加入はしていません。ですが、今月中にバスケットボールの見学に行こうと思っています。

休日や学校が終わった後は、授業の宿題をしたり、ノートを作ったりします。また、大学に近いところにご飯を食べに行ったりもしています。ルームメイトの子と宅配でご飯を頼んだり、違う大学の友達とあって遊んだりもしています。

5.3. 現在までの感想

到着してすぐは、登録しなければならないことや初期に行わなければならないタスクが沢山あり、色々わからない状況でもあったので不安でしたが、現地大学の生徒に助けてもらいながらも無事こなすことができました。日韓関係の問題などがニュースで取り上げられている時期でもあったため、周りの人からも心配されることが多かったですが、実際に韓国に来てみて優しい韓国の方々がたくさん出会うことができました。日本で見るニュースだけではわからないことがあるということを改めて感じます。

今学期では、語学堂を中心に学習しているため、通常の授業をあまり専攻していないので単位変換できるものも少ないです。帰国後に、何単位分単位変換できるのか、本当に四年で卒業できるのかが最近とても不安です。ですが自分がしたいと思った留学であるため、今学期は韓国語の学習に力を入れて、次の学期でより多くの授業を取れるようにしていきたいと思います。

以上

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（10月）

所属	外国語学部	国際文化交流学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	弘益大学 (韓国)		
所属プログラム・ 学部・研究科	語学堂・国語国文学科		
報告書提出日	2019年10月30日		

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

初回報告書に記載した通り、語学堂でのクラスが3級だったため、3級レベルの文法や単語は完璧にする。また、帰国した際に TOPIK 4級の獲得を目標にしている。また、日常会話に支障をきたさないレベルにするだけでなく、特別な事項（銀行や病院など）での韓国語でのやり取りもスムーズに行えるよう、特別的な単語なども覚える。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

語学堂で韓国語に力を入れて勉強したため、語彙や表現方法が明らかに増えた。今までは、同じ言い回しでしか伝えることができなかつたことも、違う形で伝えることができている。また自分の語彙力と表現力が上がったため相手の言っていることを今までよりも理解できるようになったことが実感できている。韓国人の友達と話すことで、教科書には載っていない表現方法や言い回しを知ることができたり、最初よりも韓国語がすんなり出てくるようになった。

1.3. 今月の学習・研修目標

今月の目標は、発音をもっとよくすること。相手に言いたいことが伝わったとしても、自分の発音のせいで理解に時間を取らせてしまったり、会話が止まってしまうことが多々あるため、今月は前回の目標であった語彙と表現の学習に加えて発音に力を入れていきたいと思っている。

2. 学修について

2.1. 授業について

① 語学堂 (50分/1コマ) (20コマ/週)
 授業が進んでいくにつれて、内容や文法が少しずつ難しくなってきた。先生の説明がわかりやすいため理解はできている。説明を聞いても曖昧な時やわからない時は、ネットで検索して日本語での説明を読み確実に理解してから次に行くように心がけている。語学堂を途中でやめた人が何人かいるため一クラスの人数が減った。6人くらいの時もある。また現時点で三回テストを受けた。語学堂の一学期では四回テストがあるが、作文テスト、発表テスト、単語文法テスト、リスニングテストに分かれている。語学堂の一学期は二ヶ月と少しなため短い期間であるが、テストが四回あるためほぼ毎週テスト対策の勉強をする必要がある。大変ではあるが、そのテストのおかげで明らかに韓国語力は上がっていると感じる。特にクラスでみんなの前で発表する発表テストが全文覚える必要があるため難しい。
 また、語学堂の授業の一環として一学期に二回文化体験を行う。一回目はロッテワールドという遊園地に行った。二回目は学期の最後にあるそうだ。

② 生活英語 (50分/1コマ) (2コマ/週)
 授業方針は前回と同じだ。中間試験があったが、二人一組になり授業で習った表現や話題を含む内容の問題がそれぞれに渡され、二人で会話をするというものだった。先生と一対一で対話するわけではないのと、あらかじめ問題は渡されない。普段からのテストはなく、あとは期末試験が残っている。

神奈川大学の OCS の内容に似ている。

③ 中級日本語 (50分/1コマ) (2コマ/週)

二週に一回ほどの単語テスト及び、それぞれの課が終わったあとにその課に対応する日本語検定試験の過去問題が掲載されたプリント、その課で習った表現を使って例文を書くプリントが宿題として配られる。普段特に考えていない文法なため改めて考えると分からなくなったり、理解はできるが説明が難しい文法などが多くあるためとても興味深い。この授業で韓国語の単語テストもあるので語彙も増えた。

2.2. 予習・復習・自習について

前回と変わっていません。

2.3. 語学力について

前回の報告書を書いた時よりも語学力がはるかに上がったと感じる。日本にいる時よりも韓国語を使う機会が明らかに多いので日々韓国語を使うことができている。語彙と表現の方法が増えたので今までよりも理解できる内容が増えた。また、自分が話す時も前よりスラスラ話すことができている。ただ、発音がまだ上手にできないことが多いため、話を聞くとときに韓国人の発音をよく聞いて真似するように心がけている。政治の話などを振られると内容的にも自分の語学力的にもうまく話ができないことが多い。この時期だとそのような話になってしまうことも多いため毎回どうすべきか考えてはいるが相手もそれを読み取ってくれている。後は、街でのお年寄りの方が話す韓国語がいまだにうまく聞き取れない。また電話での会話も難しい。

3. 生活について

3.1. 衣食住について

住居	学内寮 (その他:)
----	-------------

同じ部屋の韓国人と話すことで生活しながら韓国語を使えるので自分のためになっている。ただ、やはり何かと人と同じ部屋で生活するのは大変だなと感じる。

また冬休みの期間に寮に滞在することは申請すればできるが、冬休みの最後の一週間は寮の清掃期間で住むことができないそうなので、仕方なくゲストハウスを一週間ほど予約した。荷物も寮から一度全て出さなければいけないので面倒である。何かと寮の詳細が出るのが遅いので、留学生からすると大変なことが多い。

まだ10月末ではあるが急激に気温が低くなったため、衣類を買い足すことが多くなった。買う場所はすぐ近くにたくさんあるため不便ではないが、もう少し日本から冬服を持って来ればよかったと思う。

食事は近くにコンビニも飲食店もたくさんあるため困らないが観光地なため一つ一つが高い。

3.2. 課外活動について

バスケットボールに参加している。週一回か二回ほど活動があるので行ける時は行くことにしている。

休日は友達と出かけたり、テスト前であればカフェで勉強したりすることがほとんどである。

3.3. 現在までの感想

現在まででものすごく不便だったことなどは特にない。これ日本と違うなと思ったりすることはたくさんあり、最初は戸惑うことも多かったが今では慣れた。日本食が手軽に食べることができずストレスになっていたので、11月に一度日本に帰ることにした。比較的簡単に行き来ができるということもあるので気軽に過ごすことができている気がする。冬休みの期間が長いのでその間韓国語を忘れないように勉強は続けたいと思う。この二ヶ月間でたくさんの人と出会うことができたので残りの期間もいろいろなことに挑戦していきたい。

以上

神奈川県立大学派遣交換留学修了報告書

所 属	外国語学部	学科	国際文化交流学科	3 年次
派遣先大学 (国)	弘益大学 (韓国)			
所属プログラム・ 学部・研究科	国語国文学科	履修言語	韓国語	
留学期間	2019年8月～2020年3月			
報告書提出日	2020年4月 25日			

1. 学習について

1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録までの過程
Fall Semester	9月2日 ～12月14日 (15週)	12月9日 ～12月14日	国際交流室に紙で提出し、それが時間割に反映され登録が完了となった。9/2～9/6の最初の一週間はいわゆるお試し期間だったため、気になる授業に参加することができた。履修登録の紙の提出締切は6日。 今学期は語学堂も併用して通うため、弘益大学の日本語の先生をされている松崎先生に相談した上で履修を決めた。その際に弘益大学に正規に通う日本人の学生からも授業や履修について聞いたためそれを参考にすることができた。
語学堂 秋学期	9月9日 ～11月15日 (10週)	11月12日 ～11月13日	語学堂なので決められたカリキュラムだったので特別な履修登録はなかったが、クラス分けテストが9/3にあり、それによってレベルでクラスを分けられ9日から授業が始まった。

1.2. 履修科目・内容

学期	履修科目名	合計時間	履修内容・授業での取り組み
		(内訳)	
秋学期	語学堂	184 時間	<p>授業は毎週月曜日から金曜日で、4 時間行われる。内容としては、最初の 2 時間は書くこと読むことの学習、最後の 2 時間は話すこと聞くことの学習。授業は全て韓国語で行われる。新しい文法が多く出るため、毎回授業後にもう一度理解しながらノートを作った。</p> <p>中間試験・期末試験の対策としては、筆記やライティング、リスニングの試験では授業で出てきた単語や文法、長文がテストに出るとのことだったので復習をしっかりとした。また教科書の単語は基本全て覚えた。会話の試験では、与えられたお題について聞かれるため、聞かれた時にどう答えるか予想して対策した。スピーチの課題もあったが、それは一度自分でスピーチ原稿を作成してから韓国人の友達に文法の間違いなどがいないか確認してもらった。</p>
		4(時間/回) ×5(回/週) ×10(週) 内4回祝日で休み	
Fall Semester	生活英語	25.1 時間	<p>月曜日に 50 分の授業が 2 コマ。内容としては、挨拶や雑談、世間話の仕方、一般的な会話の流れを学んだり、道の尋ね方、好きなもの苦手なものの会話、招待の仕方、将来計画といった様々なトピックについて二人一組で実際に会話をしたり、グループになって会話をしたりした。会話をする際はあまり教科書を見ないようにした。</p> <p>中間試験・期末試験では二人一組になり授業で扱った表現や話題を含む内容の問題が渡され二人で会話をする。どんな問題かは試験の時までわからないため、授業の内容を復習しペアの相手と予想問題を考え対策した。</p>
		1.67(時間/回) ×1(回/週) ×15(週)	
Fall Semester	中級日本語	25.1 時間	<p>水曜日に 50 分の授業が 2 コマ。内容としては中級レベルの日本語文法や単語を教科書に沿って学ぶ。二週間に一回単語テストがあり、一般学生は韓国語→日本語のテストだが、日本人学生は日本語→韓国語のテストが行われた。また宿題として出される課題に、日本人学生は韓国語での作文があり添削をしてもらっていた。</p> <p>中間試験・期末試験は授業の最後に配られる日本語検定試験の過去問題のような内容のテストとリスニングテスト。</p>
		1.67(時間/回) ×1(回/週) ×15(週)	

1.3. 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について

分からないことがあった時はその授業内や授業後に聞き、次に持ち越さないようにした。特に韓国語の文法などは説明を受けても完璧に理解できない時があったためその時はネットで日本語の解説を見ることでなんとなくわかるという状況を無くし完璧にわかるようにした。予習では教科書に書いてある単語などが分からないと授業を聞いても分からないため、あらかじめ調べてから授業に臨むようにした。

1.4. 語学力について

留学前、留学当初も韓国語は少し話せてはいたが、聞き取りが苦手だった。特に電話でのやり取りは難しかった。そのころに比べると聞き取りが得意になったことが一番大きな成果だと感じる。また、韓国語を話す機会が確実に増えたため、発音が良くなり単語量も増えた。授業で習った表現方法や、韓国人と会話している時に知った表現方法を自分が話す時に使えるようになったので、表現の幅も大きくなり会話がスムーズにできるようになったと感じる。また、留学が終わる頃には電話でのやりとりも出来るようになった。

留学中の取り組みとしては、習った表現を実際の会話で使うようにした。また韓国人の発音をよく聞き真似するようにした。韓国人と会話をしている時に出てくる分からない単語は質問したり文脈から読み取ったりもした。語学堂が終わった後は一般の授業しかなく時間があつたため、一個上のクラスの教科書を買って自分で文法などを学んだ。サークルなども積極的に参加し休みの期間でも韓国語を使えるようにした。

2. 留学の成果を振り返って

2.1. 学修の成果

語学堂では、書き・聞き取り・読み・話しを満遍なく学習できたので偏ることなく全体的に語学力を上げることができた。また、週に5回みっちり授業があつたため毎日の予習復習が習慣になった。それにより韓国語学習に対しての意識を上げることができた。

また取り組みとして、実際に習ったものを日常会話で使うことで学習している際には感じなかった疑問点が出てきてさらに深く理解することができたり忘れないようになった。授業後にその日習った分の文法をもう一度理解しながらノートを作ることで理解を深められた。またその際に例文を見ることでどう活用するかもわかるため実際に日常会話で使うことができた。

英語の授業では授業内で実際に会話をするのでスムーズに頭に内容が入った。少し曖昧になっていた日常会話の流れや尋ね方も学ぶことができた。

授業中に二人一組になって実際に話す時に教科書をなるべく見ないようにすることで、テストの時にスムーズに話すことができた。

2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス

反省点…もう少し一般の授業を履修しても良かったと思う。

アドバイス…韓国語専攻で留学の場合にも英語の授業は取ることができるが、語学堂で韓国語を勉強しながら英語の授業となるとどうしても韓国語が先に出てきてしまうため、韓国語専攻の場合は韓国語で行われる授業を優先して履修しても良いかもしれない。

2.3. 留学生活で得られたもの

新しい出会いが多いのでその分その人の考えなどを知ることができて視野が大きく広がった。日本では当たり前のことでも少し外に出ると当たり前にならないことを、身を以て感じることができた。何か問題が起きた時に基本は自分で対処しなければならなかったり、コロナウイルスのせいで留学が中断・急遽帰国ということになったりもしたが、それを踏まえると対応力が留学前よりもはるかについていると思う。また留学生活で新しい日本の友達、韓国人の友達、先輩後輩ができた。留学を通してそのような出会いがあったこともとても良かったと思っている。

2.4. 留学生活での反省点ならびに留学志望者へ生活面のアドバイス

反省点…一度熱を出した際に一番近くの病院を調べておらず、すぐに病院に行けずに休業日を挟んでしまったこと

アドバイス…急を要した際に行ける一番近くの病院と、保険のキャッシュレス提携の病院を調べておくのが良い。

派遣交換留学中の生活等に関する調査

記入日	2020年4月22日	
派遣先国	韓国	
派遣先大学	弘益大学	
留学先での所属学部	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等 学部名：(国語国文学科) <input type="checkbox"/> 語学研修 <input type="checkbox"/> その他 ()	
本学での所属	外国語学部	国際文化交流学科・専攻
学年	2年次 (留学開始時の学年)	
	2年次 (留学終了時の学年)	
留学期間	留学開始年月 2019年8月 ~ 留学終了年月 2020年3月	
	留学期間 6ヶ月間	

I. 留学先での住居について

1	住居形態は 何でしたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ()
2	部屋の形態	<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2)
3	住居形態の詳細を教えてください。	(韓国人の方と二人部屋、部屋数1、トイレ・シャワーは各部屋、冷蔵庫・電子レンジなどは共同エリア、収納多め)
4	入居時手続き	(学生寮の行政室でカードキーを受け取る、費用は決められた日に入金)
5	費用(月額)	(約35000)円
6	食費(月額)	<input type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他(約20000)円
7	支払方法	(現金かデビットかチェックカード)
8	住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(共同) <input type="checkbox"/> トイレ(個別) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(共同) <input type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input checked="" type="checkbox"/> 食堂 <input checked="" type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input checked="" type="checkbox"/> 乾燥機 <input type="checkbox"/> その他 (台所あるらしいが行ったことないため曖昧)
9	住居選択方法	<input checked="" type="checkbox"/> 大学に申込 <input type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他()
10	周囲環境	(駅から近い、繁華街付近、小さめスーパーなら有り)
11	アクセス	(大学内)
12	留学中の住居に関して アドバイス	(部屋移動があったのであまり物を増やさない方が良い)

II. 通信環境について

1	日本キャリアの携帯電話	持参した
2	現地キャリアの携帯電話	現地でSIMカードを購入
3	現地携帯電話の取得手続きの方法	(留学生向けのSIMカードを扱っているお店に行き契約)
4	自宅のインターネット接続環境	無線(大学または寮へのLAN接続)
5	大学内インターネット接続環境	無線(大学または寮へのLAN接続)

III. 留学費用について

諸経費（1ヶ月の平均）		
1	宿舎費	347500 (ウォン)/月
2	食費	200000 (ウォン)/月
3	交通費	10000 (ウォン)/月
4	通信費	40000 (ウォン)/月
5	娯楽費	100000 (ウォン)/月
6	図書費	0 (ウォン)/月
7	学用品（教科書など）	60000 (全体で) (ウォン)/月
8	被服費	20000 (ウォン)/月
9	医療費	3000 (ウォン)/月
10	雑費・その他	50000 (ウォン)/月
上記以外にかかった大きな金額の内訳（留学準備期間含む）		
11	出願料・宿舎デポジット	0 (ウォン) /月
12	ビザ申請関連費	0 (ウォン) /月
13	航空券代（休暇時旅行費用は除く）	82800 (全体) 円/月
14	その他	67450 (保険・全体、差額) 円/月
15	留学全日程に要した総額（概算）	616750 円/合計
お金の持って行き方		
16	<input type="checkbox"/> 現金（渡航時：100000 円） <input checked="" type="checkbox"/> 国際キャッシュカード（銀行名：スルガ銀行） <input checked="" type="checkbox"/> 海外送金 <input type="checkbox"/> クレジットカードからのキャッシング <input type="checkbox"/> その他（ ）	
17	現地で銀行口座開設	した
18	口座開設手続き方法・利点・欠点	現地ネット決済可能、ケータイ契約が安いのに変更できた、友達間での送金が簡単
19	お金に関するアドバイス	使いすぎない、食費はどうしてもかかってしまう（自炊は厳しい）

IV. 保険・医療について

1	海外旅行（留学）保険の種類	D19 (10か月分で97450円)
2	留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか？	はい
3	海外旅行（留学）保険の適用を受けましたか？	受けた
4	どのような方法で適用を受けましたか？	キャッシュレス
5	日本から持参した方が良かったなと思う薬などはありますか？理由は何ですか？	普段使用している薬

V. 持ち物について

1	日本から持っていったもの 顔写真、お金、パスポート、保険証券、留学ガイドブック、筆記用具、充電器、パソコン、アイパッド、電子辞書、ノート、衣類、タオル、洗面用具、サンダルなど
2	現地で購入したもの SIMカード、ドライヤー、ハンガー、洗剤、スタンドライト、布団、枕など
3	（自分は持っていかなかったが）日本から持っていったら便利だと思ったもの ハンガー、トイレトペーパー

VI. 留学先で困ったこと

日本から送った ems が変な所に届いてしまった

VII. その他、後続の学生へのアドバイス

現地でも足りないものは購入できるが、帰る時にほとんど捨てることになるのでなるべく安いものを買うか、別に日本から ems でもう捨ててもいいものを送って、帰る時に捨ててしまうかがいいと思う。基本、現地で調達可能なので本当に必要なものだけ持っていくのが良いと思う。おそらく後期から新年度の前学期の間のみだが、寮の大掃除期間が一週間ほどある。秋派遣で行く場合かぶると思うのだがその大掃除期間は寮に入ることができないため日本に帰るかゲストハウスの予約が必要になる、自費なので頭に入れておいたほうが良い。

